

# 柳城

R y u j i o

柳城学院報

第55号

発行所：学校法人 柳城学院

〒466-0034 名古屋市昭和区明月町2-54  
TEL.052-841-2635 FAX.052-841-2697

発行者：洪澤 一郎

2010年7月1日



1913(T2)年 柳城幼稚園園庭にて「はとの遊戯」(右端ヤング先生)

## テーマ

建学の精神  
「愛をもって仕えよ」  
を育む瞬間

## 目次

新理事長からのメッセージ	2
学長からのメッセージ	3
新任(専任)教職員紹介	4
就任にあたっての抱負	4
退職にあたって	5
鈴木裕子教授	5
日本保育学会研究奨励賞を受賞	5
博士學位(課程博士)取得	5
保護者会 News	6
同窓会 News	6
●法人 News	7
・理事会より	7
・聖書のことば	7
●短期大学 News	8
・キャンパス整備	8
・紙芝居プロジェクト	9
・活躍する卒業生	9
・入試情報	10
・2009年度就職状況	10
・改善提案委員会より報告	10
●イベント情報	11
・オープンキャンパス	11
・ニューイヤークンサート	11
・りゅうじょう子どもフェスタ	11
・柳城祭	11
●附属幼稚園便り	12
・附属柳城幼稚園	12
・附属豊田幼稚園	13
・附属三好丘聖マーガレット幼稚園	14
●お知らせ	15
2009年度会計報告	15
附属幼稚園情報	16
学院人事	16
2010年度主要行事予定	16



## 理事長に就任して

**こ**の二月に学校法人柳城学院の理事長を仰せつかりまして。今まで三十数年にわたりましてキリスト教概論の非常勤講師や評議員、幼稚園のチャプレンとして柳城とは関わりを持たせていただいておりますが、この度は大変重い役割をいただきまして気の引き締まる思いであります。出来る限り誠実に学院運営に努めなければと思っております。

幸いなことに名古屋柳城短期大学は皆様方から信頼をいただき、幼児教育者及び保育者、また介護福祉者養成におきまして大きな実績を挙げることができておりますことは大変嬉しいことです。また、附属幼稚園におきましても子どもたちが教師たちの愛情のもと、心身ともに健全に成長している姿を見るにつけ、大人の愛情を豊かに受けた子どもたちによ

て、次世代、次々世代の世界が今以上に平和な世界になるのではないかと希望を抱くものです。幼児教育、幼児保育は大変重要な役目を担っているのです。

柳城は創立者のマーガレット・ヤング先生が保母養成所を始めから百十二年目に入りました。ヤング先生は強い意志と信念（信仰）を持って幼児教育者・保育者の養成と幼児教育に携わって来ました。柳城の歴史を紐解くときそのことが良く分かります。「愛をもって仕えなさい」という建学精神は柳城にとって不変のものですが、愛をもって仕えるということと同時に正しい信念が求められます。幼児教育・保育、介護に求められるものはまさに「愛をもって仕える」ということです。しかし、

それは生半可で出来ることではありません。イエス・キリストが示された愛は自分を無にするということでした。神の子という身分を捨てて人間となられ、十字架の死に向かうという姿の中に愛を示されました。

わたしたちにはそれは不可能かもしれませんが。しかし、幼児や高齢者と関わって行く時、イエス・キリストがご自分を無にされたということをご大いに参考にすることが出来るのです。それは常に相手の立場に立つということだと思えます。わたしもかつて幼稚園、保育園の園長をしておりました。教師や保育士が自分が学んだ理論や経験を子どもたちに教える、伝えるということも非常に大切ですが、それ以上に大切なことは子どもたちと共に自分も成長するということ

だと思っております。子どもたちの姿から自分も学ぶという姿勢がなければ保育者は成長しません。子どもたちによって自分が成長させられるのだという自覚が求められているのです。それが相手の立場に立つということだと思えます。自分からだけの視点ではなく、相手の視点に立つて考えるということなのです。

それはおそらく介護という分野においても同様でしょう。高齢者から自分が学ぶという姿勢で介護に臨む時、相手との間に信頼関係が生まれてくるのです。そういう意味では自分を無にするということは自分のスタンスを相手との関わりの中でいつでも変えることのできる柔軟性の中に置くことができるということだと思えます。

理事長 洪澤 一郎



柳城では今年からキリスト教センター構想に着手しております。柳城の建学の精神をより明確なものにするためにその実現を目指したいと思っております。センターが立ち上がりました暁には柳城の凡ての活動の精神的支柱となることを期待しております。

柳城ファミリーは学生、園児、すべての教職員を合わせますと約千人にもなります。これらの方々が思いを一つにし、お互いに交わりつつ連携を深め、よりすばらしい柳城を作り上げてまいりたいと思っております。

## 二〇一〇年度の重点方針

**目** 本経済の復調いまだしの感

が強く、文部科学省の高等教育財政も火の車のようです。短大入学生の相対的減少も目立っています。短大をとりまく社会環境条件は相変わらず厳しくかつ、劣悪といわざるをえません。にもかかわらず、「深く専門の学芸を教授研究し、職業又は實際生活に必要な能力を育成する」(学校教育法第一〇八条)短大の存在意義はいまなおけて小さくはないと思います。人間性と職業的・専門的スキルのバランスのとれた教育体系、短期ではあれ濃密で合理的な教育課程、学習成果と直結する就職、地域に根ざした大学運営など、多くのメリットが確実に存在するからです。そして教育・保育系の短大こそそのメリットは大きいのではないのでしょうか。いうまでもなく本学も例外ではありません。とはいえ現状に甘んずることなく、当然のこととして短大として十分な教育環境条件を整備する努力を積み重ねていくと同時に、

高校生の進路傾向や幼児教育への社会的ニーズを注視し、さらに今後予想される高等教育政策改革のうごき(とりわけ幼稚園教諭・保育士養成の四大化など)を視野に入れ、これに対応できるための備えも怠つてはなりません。

以上のような問題意識のもとに、本年度の重点方針をつぎの十項目におくこととしました。当面の問題点を一つ一つ着実に改善・改革し、それらの蓄積が将来の発展を約束してくれるものと確信して本年度の課題にとりくみたいと思います。学内はいままでもなく、学外の関係者のみなさまにもご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

2. キャンパスの整備充実に努めます。学生の学習環境、教職員の研究・教務環境の拡充、仮称・北館(体育館西側隣接)に教室を増築し、新3号館の建築計画を立案するなど、学生の学習環境、教職員の研究・教務環境の拡充をはかります。

3. 社会人・職業人としての品位と能力を有するすぐれた幼稚園教諭・保育士・介護福祉士の養成に努めます。そのために授業や教材の改善をふくむ教育力のいっそうの向上に全力を投入します。

4. 短大と幼稚園の連携・協働の強化に努めます。幼児教育研究所の活動を再開するなど、共同研究の活性化による実践と研究の交流と統一をとおして、これまで以上に柳城全体の教育研究課題の共有化をめざします。

5. 業務改善を推進し、より合理的・機能的な業務推進システム構築に努めます。とくに改善提案制度を活性化し、有用な業務情報の共有化により学内業務のシステム

化、O A化を推進します。

6. 教職員のコミュニケーションのさらなる円滑化をはかります。ハラスメント防止につとめ、お互いに人権を尊重し合い、学びあい、育ちあえる学園づくり、自由闊達に教育研究できる短大づくり、そして学生生活のサポートとして働きやすい職場環境づくりをめざします。

7. S D (事務職員の研修)およびFD (教員の研修)の強化・充実をはかります。教職員の指導者としての品格と教育力はその短大・大学のイメージと実力の原動力といつて過言ではありません。研修機会を拡充し、教育力と事務サービスの向上に努めます。

8. 本学の教育研究資源の地域開放に積極的にとりくみます。施設開放だけではなく市民の生涯学習への機会提供、子育て・福祉学習への支援などにより、地域に根ざし、市民に信頼される短大づくりをめざします。

学 長 新海 英行



9. 四大化を視野に入れた将来構想を策定します。18歳人口の推移、高校における進路選択状況、保育者へのニーズなどの分析をふまえて、また高等教育政策の改革動向を視野におさめながら本学の将来像をデザインします。

10. 第三者評価にむけての対応準備に着手します。平成二六年には二度目の評価を受ける予定です。より精緻な現状分析をもとに、「建学の精神」に則った教育や学内運営のあり方を探求したいと考えています。

以上の重点方針のもと、二〇一〇年度が成果を存分にあげられる一年となりますように祈念する次第です。



## 新任（専任）教職員紹介 就任にあたっての抱負

### チャブレン紹介

#### 「新任チャブレンとして 思うこと」

◆チャブレン 司祭 下原 太介  
「愛をもって仕えよ」。これは本学の建学の精神であり、私個人にとっても、司祭として、そして、人としての生き方の根幹を成すものであると理解しています。私は、このみ言葉を心に思い浮かべるたびに、いつも、考えることがあります。それは「愛をもって」という時、それは一体どのようなことを意味しているのか？ということとです。

「愛」という言葉は実に便利な言葉です。人々が抱く尊い想いや行ないなどの、ありとあらゆる最高のものが、この言葉には集約されています。この言葉一言で、相手に対して、自分の全てが嘘偽りのない真実である証を立てることができるからです。

しかし、それは同時に、この言葉を使う私たち自身に、愛の内実に値するだけの想いや行ないが伴っていないことも、また、その内実が一体何であるのかさえ知らなくとも、容易に愛を表現でき

てしまうという危うさを孕んでいます。蟻の涙ほどしかない想いでも、大海原にも溢れるほどの想いでも、愛という言葉を当てはめてしまえば、それは同じもののように思ってしまうのです。

「愛をもって仕えよ」、この言葉を至高の聖語にするか、陳腐な俗語にするか。それは、私たち自身の愛の内実への真摯な問い掛けに懸かっています。上滑りな愛が氾濫するこの世界で、私たちが、この事実に向きつくことは困難です。

私は、まず、本学のチャブレンとして、全ての学生たちに、この愛の内実について、自らの想いと行ないを捧げ、深く考えてほしいと望んでいます。子どもたちを愛するとは？、「何ををもって愛と呼ぶのか？」「自らの愛し方とは？」。

もちろん、これらの問いに唯一の答えなどありません。人それぞれに異なる答えがあるはずで、その様々な答えの中で、本学で学び、祈り、聖書に親しんだ学生たちの語る愛が、神の愛、無償の愛に根ざし、そして、何よりも、将来を担う多くの子どもたちに美しい愛の種を深く植え付けるものとなるよう、日々、祈り、説いていきたいと思えます。

子どもたちに、豊かで、正しい

人の愛し方を教えることのできる保育者が本学から、これからも生まれ続けることを心からお祈りしています。

### 短期大学

#### ◆野々宮 徹

教授（保育内容指導法・健康）  
身体文化史が専門です。ヒトのからだや身体運動に対する要請は、時代とともに変化しています。今を生きる子どもたちが、心豊かに楽しく運動し、生きる力を培っていきけるように、学生の皆さんと共に、それをそっと手助けできる実践力の修得に努めていきたいと思えます。

#### ◆菊地 伸二

#### 教授（キリスト教概論）

この4月より本学で再び働かせていただくことになりました。十年ぶりのことでもあります。大学を取り巻く環境はいろいろと変化しておりますが、変わらぬ気持ちで、建学以来の精神を伝えていくことにご協力することができれば、と思っております。

#### ◆榊原 博美

#### 助教（保育内容・実習）

本年度から名古屋柳城短期大学に赴任してまいりました。伝統のある柳城で幼稚園教諭、保育士養成に携わることができていることに對して心より感謝の気持ちでいっぱいです。建学の精神「愛をもって仕えよ」を心に留め、保育者になり

たいという皆さんの夢を全力で支援していきたくと思っています。

#### ◆阿部 力治

#### 総務部経理課課長

3月1日付で特任職員として就任しました。会社を退職するまでは企業会計一本でしたので、学校会計は初めてです。一日も早く学校業務と会計システムを覚えることが、皆様に迷惑をかけないことになると思っています。

ミッシヨンスクールとしての学院に早く慣れます。

#### ◆高橋 達也

#### 教学部入試広報課課長

本年4月より、名古屋柳城短期大学の職員として勤務させていただいております。入試広報の役割は、受験生と本学をつなぐ絆をより太く、より強く作り上げてゆくことだと考えています。微力ながら、少しでも本学の発展に貢献できるように努めたいと思えます。

### 附属幼稚園

#### ◆豊田幼稚園

#### ゆり組担任 後藤 千佳

今年の4月から、新任として年長組の担任をしています。あっという間に過ぎる毎日ですが、とても元気な子ども達と楽しく過ごしています。

先輩の先生方はもちろん、子ども達からも学ぶことも多く、私自身も日々、勉強の毎日です。これからも笑顔をやさず、保

育者として頑張っていきたいと思っています。

#### ◆三好丘聖マーガレット幼稚園

#### 主任 織田 純代

昨年度からマーガレット幼稚園でお世話になっております。豊かな自然の環境の中で、のびのびとした子ども達に、毎日たくさんのパワーを頂き、癒されています。神様から愛されているありのままの姿の子ども達を先生方と力を合わせて、慈しみ育んで参りたいと思えます。「愛をもって仕えよ」柳城の建学の精神を忘れることのないように：

#### ◆三好丘聖マーガレット幼稚園

#### 年少（ちゅうりつぷ）担任 吉田 優子

笑顔のとてもかわいい年少組の担任をさせて頂いています。初めて園生活をスタートさせた子どもたち。これから保育者・友だち・生き物・行事など色々なことに出会っていきます。そのひとつひとつの出会いを一緒に喜び、大切にしていきたいと思えます。

#### ◆三好丘聖マーガレット幼稚園

#### 年中（ぞう）担任 山中 綾

私は29名の年中組を担当させて頂いていただいています。毎日明るい子どもたちから、たくさん笑顔と元気をもらいながら過ごしています。一人ひとりがのびのびと楽しい園生活を送っていけるようなクラス作りをめざし、いろいろな経験を通して子どもたちと一緒に成長していきたくと思っています。

## 退職にあたって



◆短大教授  
長根利紀代  
学生時代より

の柳城43年間は、やりがいと充実感に満ち本当に幸せでした。故坂東先生や先輩方からの学びを誇りました。2年生と共に卒業し、心に残るゼミ生と空席覚悟で臨んだ最後の授業は一年生補講。4クラス合同1限目で思いかけず受けた温かい思いやりの数々。全員の歌には涙が止まらず今でもその歌声が私の心に響いています。改めて皆様に感謝申し上げます。



◆准教授  
チャブレ  
市原信太郎  
6年間

しく過ごしてきましたが、3月末で任期満了に伴い異動となりました。新しい職場は、東京の中高一貫男子校で、いろいろな違いに戸惑う毎日です。保育という明確な目標のある柳城との大きな違いは、生徒が「目標を一人一人が定める」というステージにいますことでしょうか。いろいろな可能性を秘めた生徒との新しい出会いを、柳城での毎日と同様に楽しみたいと思っています。



◆法人事務局  
課長  
西 弘美  
長い間お世話になりました。

最後の日に、チャペルで祈りを捧げました。学生時代や幼児教育研究所に勤務してからの誕生会、事務局に勤務してからの諸行事だけでなくチャペルには、沢山の思い出があります。チャペルに跪き、祈ることは、心安まり、私の癒しの場であり、パワースポットです。



◆附属豊田  
幼稚園教諭  
栗田 彩子  
3月の終わり、大きな体

の男の子と女の子たちが「先生、辞めちゃうの？」と私の所を尋ねてきました。「4月から中学生だよ」とうれしそうな笑顔は6年前と変わっていませんでした。楽しんで幼稚園の思い出話をする子どもたちの姿を見て、改めて幼稚園教諭という仕事を選んでよかったと感じました。十二年間毎日、子どもの笑顔に囲まれ、素直な心に触れ、大きく成長していく姿を見てこれたことがこれからの私の人生の大きな糧となることと思います。



◆附属豊田  
幼稚園教諭  
中島 良子  
短大を卒業後、附属マー

ガレット幼稚園に4年間お世話になりました。様々な事を先輩の先生方に教えて頂き、子供の成長を見られる、ととても素敵な職業だと感じることができました。その後豊田幼稚園では、先輩に様々な事を伝えていく立場になり、難しい事もありましたが、とても充実した6年間になりました。附属園は、子ども達の事を一生懸命考える、素敵な先生方がたくさんいる職場でした。機会があれば、また働きたいです。長い間、ありがとうございます。



◆附属豊田  
幼稚園教諭  
高見 真由  
退職し、園

を離れて2か月が経ちましたが、今でも、出会った子どもたちや保護者の方々、共に働いた先生方の顔が鮮明に思い出されます。思い返せば、豊田幼稚園で働いた3年間はあっという間の3年間でしたが、中身の詰まった3年間だったことに、離れて改めて気がつきました。また、附属幼稚園は私にとって故郷であり、先生にしてくれた場所でもあります。そのような大事な場所、出会ってくれた人たちに恩返しができるよう、これからも前を向き進みたいと思います。3年間、ありがとうございました。



◆附属三好丘  
聖マーガレット幼稚園教諭  
南川たか子  
保育人生の



◆附属三好丘  
聖マーガレット幼稚園教諭  
野々山実奈  
子どもは好

きだけ……。私にこの仕事は向いているのだろうか。人前に出ることは苦手だし、歌をうたうことは決して得意な方ではない。そんな不安な気持ちを抱きつつこの世界にとびこんだ私でしたが、気付けば8年という月日が流れていました。振り返ってみるとこの8年間は私の人生においてとても濃密でかつ充実した時間でした。十人十色とはよく言ったもので今まで出会った子どもたちはどの子も皆それぞれ違った個性を持っていて毎日が笑いや発見の連続でした。これが私の8年。すばらしいたくさんの方の出逢いと今まで支えてくださった皆様、本当にありがとうございました。

## 鈴木裕子教授、日本保育学会研究奨励賞を受賞！

鈴木裕子教授は、2010年5月22日の日本保育学会第63回大会にて、「日本保育学会研究奨励賞（論文部門）」を受与されました。

鈴木教授の受賞は、本学にとっても非常に栄誉ある出来事です。以下に、今回の受賞論文と受賞への審査コメントを掲載します。

### ◆受賞論文題目

「幼児の感性を具体化する試みー幼児期の感性尺度の開発を手がかりとしてー」（保育学研究第47巻第2号 2010）

### ◆受賞論文への審査コメント（抜粋）

これまで保育の場において、「感性」は保育者の主観に委ねられてきました。本研究は、その曖昧な「感性」について、多くの保育者が捉えたエピソードを分析し尺度開発という方法を用いて、感性の側面や要素さらには感性を構成する3因子「独自の感受と創出」「能動的な応答」「情緒的・道徳的な共感」を明らかにしています。保育の発展に寄与する新たな知見として高く評価されます。

## 博士学位（課程博士）取得

### 鈴木裕子教授

兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科にて博士（学校教育学）取得（2010年3月26日）

◆学位論文タイトル：保育における身体による模倣行為の機能と役割

◆専門は、幼児の身体表現と身体活動。幼児における身体的なコミュニケーションとしての模倣行為や感性が近年の研究テーマとなっています。



# 保護者会 News

保護者会長あいさつ



加藤 恵美

娘が小さい頃から描いていた将来の夢が、保育士だと分かった時、私は迷うことなく「柳城短期大学」を薦めました。私自身、本校を卒業いたしましたので柳城の良さを身にしみて実感しております。しかし、いくら当時の学校生活の様子を話したところで、三十年近くの年月が経っている今、柳城をどう思うか不安なところもありました。娘が「楽しいことや大変なこといろいろあるけど柳城で良かった」と言っているのを聞き安心しております。縁があり親子共、柳城で学べたことを本当に幸せに思うと共に、日々熱心にご指導して下さいている先生方には深く感謝しております。

長い歴史の中で受け継がれてきた『愛をもって仕えよ』の建学の精神を基に、人と人の出会いを大切に、同じ道を目指す友達と励まし合い、喜びを共感し、互いに磨き合いながら有意義な学校生活を送ってほしいと思っています。そして学生の皆さんが今以上に柳城で良かったと思える日が来ることを、卒業生として願っています。

## 保護者会役員

会長	加藤 恵美	2年
副会長	松井 安子	1年
会計監査委員	木村 智恵子	2年
	平見 睦子	1年
委員	眞浦 秀雄	2年
	大塚 慶子	2年
	後藤 幸子	2年
	伊藤 雅恵	2年
	田中 美貴子	2年
	鈴木 直美	1年
	藤井 昭美	1年
	藤原 喜久江	1年
	早川 志緒美	1年
	石田 登容子	1年

本年度、保護者会の会長を務めさせて頂くことになり、力不足ではありますが、少しでも学校のお役に立てればと思っておりますのでどうぞ宜しくお願い申し上げます。

# 同窓会 News

同窓会だより



青山 道

太陽に輝き青葉の美しいところになりました。入学・進級から時が経ち環境にも馴れられ、充実した学生生活をお過ごしのことと思います。上級生の方は来春の卒業をひかえ、就職への心配りや準備で気がかりのところでしょう。先日他大学の先生から「柳城は名門だね」とおっしゃってくださり、とてもうれしく思いました。もちろん現在の柳城の教育内容、方針や学生さん達の評価であることは云々までもありませんが、卒業生の多くの方々が現場で一生懸命お仕事を励んでおられることもあるのではないのでしょうか。柳城は就職率が良いとのこと社会で柳城生が認められているからでしょう。このことから私たち同窓生は大きな責任を感じますし、これからの学生さん達への課題でもあるように思います。

今年度も同窓会費をお納めくださいましてありがとうございます。私たち同窓会は学生の皆さんとより近いところでふれ合いをもちながら、柳城祭に参加したり教育振興への支援をしてゆきたいと思っています。先日学長先生と

現在の同窓会のかかえている課題、主に役員の充実とこれからの希望、なるべく早く同窓生がいつでも利用できる施設・場所等いろいろお話し合いをさせて頂いていただきました。学生の皆さんのご希望も伺うことができればとてもうれしく思います。同窓会は在校生の皆さんもお仲間としていろいろなことに取り組んでゆきたいと思っております。今後もしよろしくご支援くださいますようお願いいたします。

**ホームカミングデーのお誘い** 無料

日時 **2010年11月3日(祝)**  
10:00 ~ 15:00  
柳城祭開催時

場所 **名古屋聖マタイ教会 一階ホール**

美味しいお茶とお菓子を用意しております。在学生の皆様もどうぞおいください。

## 同窓会だより(東京支部)

鎌倉 寿子

二〇一〇年度、のぞみの会東京支部について、ご報告させていただきます。今年度の事業は六月十八日(金)十九日(土)一泊二日、神奈川県足柄下郡箱根町湯元茶屋にある箱根の森(おかだ)にて、同窓会を開催いたします。会場は自然豊かで温泉、観光名所・旧跡も数多くあります。また六月中旬〜七月下旬まで、箱根登山鉄道の沿線に咲く、車窓スレスレにかすめる、青や紫の彩り豊かな約一万株のアジサイは見事です。その他に寄木会館やラリック美術館の中にあるオリエント急行(パリエイスタンプール間を走っていた列車)の中で、ティタイムを、ゆったりとしたいと、計画しています。

同じ学舎で、学んだ友と久し振りの再会にうれしく、心おどりの話も弾み、柳城の温かさを、再確認して、神様に祝された百十年の歴史を持つ学舎を同窓生は誇りに思います。皆様の中で、会報を欲しい方は申し出てください。お送りいたします。そして、年一度の同窓会に参加してください。代表者は鎌倉寿子で電話は、〇二七(二六一)〇九五〇です。今後とも東京支部のぞみの会を、よろしくご支援くださいます様お願い申し上げます。

## 理事会より

理事 野村 潔

昨年3月から当学院理事の末席に加えられました。ほぼ毎月行なわれる理事会の他、様々な委員会もあり、理事の仕事のたいへんさと責任の重さを実感しています。

経済不況や少子化が叫ばれている昨今ですが、短大では、今年も入学者の定員を満たすことができました。これは教職員の皆様による日頃の努力の賜物と感謝しております。また、この就職難の時代にも拘わらず、今年も就職率100%の目標を達成できましたことは、誇るべきことだと感じています。関係者のご尽力に敬意を表します。

一方で、学生の増加や校舎の老朽化に伴う課題も生じています。学生たちのためには、より豊かな学習環境を整備すること、また教職員のためには、より快適な教育・研究・労働環境を整備することなど、今後、学院として取組まなければならないことは少なくありません。

こうした課題に対する取組のひとつとして、昨年、キャンパス整備委員会を設置し、校舎の増改築等について検討を始めました。しかし、この課題は、単に建物や施設の整備に留まらず、今後の柳城学院がどのような方向に歩んでいくかという本質的な内容を含んでいます。そのため、新海学長を中心に、柳城の創立理念に基づいたランドデザインの策定を進めており、その内容を今後の教育プログラムやキャンパス整備に反映させていきたいと考えています。

附属幼稚園につきましては、園児獲得の競争が激化しているなかで、それぞれが善戦していると言え

ます。しかし、幼稚園が置かれている状況は、今後、益々、厳しくなることが予想されますので、幼稚園のあり方も含め、学院全体の課題として取組むことが求められています。

私が特に感じていることは、短大と附属幼稚園との関係をより密接にしなければならないということです。表現は適切ではありませんが、短大にとつて幼稚園は、アンテナショップのような役割もあるのではないかということです。幼稚園は、何と云っても地域の人々との結びつきによって支えられています。

今年4月に行なわれた瑞穂幼稚園の解体セレモニーに参加させていただき、集まった人々に触れ、あらためて幼稚園は地域と共にある存在だということを感じました。

また、何代にもわたって同じ幼稚園に通う家族も少なくありません。かつて、ある幼稚園の近所のラーメン屋さんで、その主人が、「ぼくも息子たちもその幼稚園を出たんですよ。柳城の先生たちはすばらしいですよ」と語ってくれました。このような声が、ひいては柳城短大への評価につながり、入学希望者の増加につながっていくことを期待しています。

今後も短大と幼稚園が密接に協力、連携しながら、学院全体が成長していけるように努力して参りたいと思います。

## 聖書のこ と ば

「イエスは涙を流された。」

(ヨハネ福音書11章35節)

「イエスは涙を流された。」この聖句は聖書の中で、もつとも短い節として有名な箇所です。原文のギリシア語でも、冠詞を含めて3つの単語だけの、やはりもつとも短い一節です。愛するラザロの死を悲しんでイエス様は、涙を流されるのですが、この後、イエス様は自ら、ラザロを生き返らせていらつしやいます。死を越えて、人に豊かな命を与える力を持っているイエス様が、死を前にして絶望し、悲しむ人間とともに悲しまれ、涙を流されるのです。わたしたちにとつて死がどんなに深い絶望であり、悲しみであるのか、そのことをよくご存じのイエス様は、わたしたち人間の悲しみに心を寄せて、涙を拭ってください、さらに命の希望を指し示してください、さるのです。

わたしたちにはイエス様のように、人の悲しみや憂いに深く心を寄せることは、難しいことかもしれません。しかし、イエス様がわたしたちの悲しみに、憂いに心を寄せて、ともに涙を流してください、さることを覚えながら、少しでも人の悲しみや憂いに心を寄せていく歩みをしたいと思います。その歩みこそが、イエス様が指し示してください、命の希望への方向なのです。

〔附属三好丘聖マーガレット幼稚園チャプレン 後藤 香織〕



キャンパス整備

バリアフリー  
トイレ改修

2009年8月から2010年3月に亘り、一期と二期に分けて一号館の一階から五階までバリアフリートイレを設置し、併せて既設トイレを改修しました。施工は大成建設(株)へ依頼し、費用総額は六千五百万円(消費税含む)でありました。なお、後に述べる体育館耐震改修工事と合わせ、文部科学省から四千万円の補助金が交付されています。

体育館耐震  
補強工事

名古屋柳城短期大学校舎の内、新耐震基準を満たしていない建物として体育館が残っており、これに耐震改修を施すことを理事会で決定しました。これを受けて、2008年6月に耐震診断の費用として二百三十一万円(消費税含む)で大成建設(株)に依頼しました。診断結果から耐震補強工事

の必要であることが明確となったため、文部科学省へ補助金の申請を行い、工事を2009年8月1日から9月15日の間で実施しました。施工は大成建設(株)へ依頼し、費用総額は一千四百七十万円(消費税含む)でありました。この工事と併せて従来から要望のありました体育館空調機の設置を行いました。施工は東朋テクノロジ(株)へ依頼し、費用は変圧器架台を含めて一千四百十三万三千元でありました。従来は暖房のみであったものが冷房も使用できることとなり、夏場の体育館の使用自由度が増え、学生の施設・設備の充実につながりました。

後藤邸跡地への  
校舎(仮称北館)  
建設計画

2009年4月から月額二万円地主の後藤幸子氏と賃借契約を締結していただきました後藤邸土地について、定期借地契約を締結できることとなりました。これを受けて従来から問題となっていま

した教室数の不足に対応するため、キャンパス整備委員会並びに教務委員会の後藤邸跡地に三階建て校舎を設置すること及びその内容(一階は多目的教室一室、二階は女子用トイレと教室一室、三階は教室一室とゼミ室一室)を決定しました。この決定に基づき三建設業者へ見積もりを依頼し、一番廉価な大成建設(株)に建設を依頼することとしました。教室の延べ床面積は二百四十一㎡で構造は

鉄骨ALC造りとし、費用は概算五千六百七十五千円です。新校舎は仮名称として北館とし、来年二月に完成予定です。

土地の購入

名古屋柳城短期大学の南側土地(昭和区阿由知通5丁目一〇の一、二〇の二)が、売却に出されたのを受けて理事会で同土地の購入



北館(仮称)完成予想図2011年2月完成予定

を決定し、購入しました。敷地面積は二百八十七・二六㎡で校地として、文部科学省へ届け出を行っています。同土地に立てられる建物は、日影と第一種住居地域及び近隣商業地域の関係から四階建てまでの建物で、最大延べ床面積は六百七十八㎡です。同土地への校舎建設については、今後キャンパス整備委員会を検討していく予定です。

三号館の建設検討

二〇〇四年に建設の一時凍結をいたしました三号館の建設計画を、復活させることが二〇〇九年の理事会で協議され、キャンパス整備委員会が新三号館を含めた短大校舎のランドデザインを検討することとなりました。現状の土地は、第一種住居地域であることから日影の制約が多く、特に西北角地のマンションへの配慮から、西側は三階までしか建設が出来ない制約があります。今後どのようなランドデザインを描けるか、キャンパス整備委員会が検討を続けていくこととしています。





# 入試情報

## 二〇一〇年度 入試結果

保育科二二一名、専攻科保育専攻八名の新入生が入学しました。この状況は、十八人口の減少期の中で、多くの皆様のお力添えにより、昨年と同様の入学者を確保できました。このことは、本学一二年の歴史と伝統に基づく教育内容や学習支援が、社会に認められている結果であると自負しております。

また、実習先や就職先の園長先生からは、「柳城生はまじめで明るく素直」、「保育に取り組む姿勢が良い」、「保育の内容を豊かに受けとめることのできる基礎的な力を持っている」など高い評価をいただいております。

今後におきましても、更なる本学の教育の質の向上、学生本意の教育の充実を目指してゆきます。保育への進学を希望される方がお見えでしたら、是非、本学への受験をお勧めいただければと思います。

## 二〇一一年度 入試概要

本学の入学試験には、公募制推薦A入試(専願)、公募制推薦B入試(併願)、AO入試、一般A入試、一般B入試、社会人対象等の特別選抜入試、特別推薦入試の試験があります。この中の特別推薦入試には、「同窓生推薦入試」が含まれています。これは、本学を卒業されたお方のお子様、お孫様、ご兄弟を推薦していただく入

### 2011年度入試日程【保育科】

#### 推薦入学試験

試験区分	試験日
公募制推薦A(専願)	2010年10月23日(土)
公募制推薦B(併願)	2010年11月20日(土)

#### 一般入学試験

試験区分	試験日
一般A入学試験	2011年 1月21日(金)
一般B入学試験	2011年 2月21日(月)

#### AO試験

試験区分	試験日
AO入学試験	2010年 9月25日(土)

#### 特別入学試験

試験区分	試験日
社会人	2011年 1月21日(金)
帰国生徒	2010年10月23日(土)
外国人留学生	2011年 1月21日(金)

#### 特別推薦入学試験

試験区分	
指定校推薦入学試験	入試広報課までお問い合わせください。
同窓生推薦入学試験	
聖公会推薦入学試験	

試です。このように本学は、多様な入試を実施していますので、自分に合った入試を選んでください。入試広報課では、入試に関する相談やお問い合わせを行っています。お気軽にお電話ください。

また、専攻科では、保育専攻と介護福祉専攻があります。特に、介護福祉専攻では、国家試験免除で介護福祉士資格を取得することができます。平成二十四年度入学生から国家試験が課せられますので、是非、介護福祉に興味のある方は、このチャンスを活かしてください。

# 2009年度 就職状況

## 今年も一〇〇% の就職率

一般社会の不況下、今春大学を卒業した学生の就職率は、九〇%に満たないといへん厳しい状況にあります。その中において本学は、今回も就職率一〇〇%を達成しました。

本年三月、本学では、保育科一八八名、専攻科保育専攻六名、介護福祉専攻十一名の、合計二〇五名の学生が卒業しました。そのうち一七七名が就職を希望し、全員が自分の希望する職種に就きました。これで本学は一九九九年以来十一年間連続して就職率一〇〇%を達成したことになります。

## ほとんど全員が専門職に

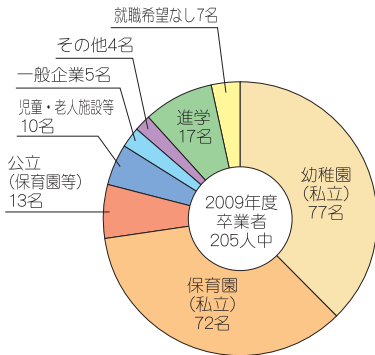
本学の就職で特筆すべきは、専門職への就職率の高さであり、就職希望者の九七%以上が、幼稚園、保育園、介護施設など、専門職への就職を希望し、毎年全員がその夢を達成しています。

本学へ入学して来る学生のほとんどが「保育者になる」という明確な目的意識を持っています。そして本学のあらゆる場で学びを深め、自分の夢を実現しているのです。ここに本学の大きな特色があ

ります。二〇一〇年度も厳しい就職状況が続くと言われています。保育科を卒業する学生数も大巾に増えます。学校を挙げて、全力で就職支援を続けてまいります。同窓生の皆様方のお力添えをお願い致します。

	卒業生数(人)	就職希望者(人)	就職率(%)	進学者(人)	その他(人)	就職希望なし(人)
保育科	188	161	100	17	4	6
専攻科						
保育専攻	6	6	100	0	0	0
介護福祉専攻	11	10	100	0	0	1
計	205	177	100	17	4	7

(2010年3月31日現在)



## 「改善提案委員会より報告」

2009年10月に事務の合理化、学院内の職場環境の向上に寄与する事を目的として改善提案制度が理事会の命を受けて発足しました。

2010年5月末までの提案件数は、21件を数えました。その中から、8件の提案が採用され、現在3名の方に「提案褒賞金」が授与されています。そして、各採用提案は現在関係部署へ実施指示が出されている状況です。

【課題】  
件数としては21件という提案数で、もう少し出るかなと言う期待はあったのですが、このような結果になっています。また、提案者数も7人に留まっており、特定の人に集中している傾向があります。このようにPR不足もあり、提案制度が学院全体に機能・浸透しているとは言えない状態にあります。

【結論】  
制度が発足してまだ一年も経たない中、また色々な問題が発生する中で、それらも改善し、とにかくどんな提案でもまず出してもらえばと思います。そして、そこからひとつずつ前進していく中で、学院全体が良い方向に行くよう少しでも手助けになればと思っています。

幹事 渡辺敏光



## イベント情報



### オープンキャンパスで 名古屋柳城短期大学を体験してみよう！

本年度は、7月17日(土)、9月4日(土)、11月3日(祝)の3回、オープンキャンパスを開催します。

7月と9月は、入試内容についての説明、学生の体験発表、模擬授業、保育の実技やチャペル体験、相談コーナー等を、11月は学校祭と同時開催で、校内自由見学や個別相談を予定しています。また、9月と11月は小論文対策講座を実施します。当日は、本学の大勢の学生がお越しいただいた方々をサポートします。

柳城の明るいアットホームな雰囲気を肌で感じていただける絶好の機会です。保育を志す方々にお越しをお待ちしています。また、日曜、祝日以外はいつでも見学をしていただけますので、入試広報課までご相談ください。お気軽にご来校ください。(お問い合わせ先：入試広報課)

### ニューイヤーコンサート

今年度のニューイヤーコンサートは1月23日〔日〕午後2時より名古屋市青少年文化センターにて開催の予定です。今回のプログラムは第一部は本学音楽担当教員によるショパン生誕二百年を記念して「ショパンの生涯とその作品」をお話と演奏を織り交ぜてお送りします。第二部は在校生によるハンドベルとコーラスをお送りします。美しいハンドベルの響きと華麗なテクニックを、そして懐かしいコーラスの名曲をお楽しみください。卒業生の皆様お誘い合わせて新春の一時を美しい音楽でお過ごしただけならとご案内申し上げます。多くのお知り合いやご友人とのご来場心よりお待ちしております。このコンサートは同窓会「のぞみの会」のご支援を受けております。入場無料です。



### りゅうじょう子どもフェスタ 2010.2.6

2009年度は、新型インフルエンザの暴挙にお手上げの1年でした。子どもフェスタ開催の可否も12月末まで決定できませんでした。新たに構想していた企画は実施に至らず、従来通りの学生の表現発表会に絞っての開催となりました。

それでも、構成、脚本、音楽、衣装のすべてが学生のオリジナルであることには変わりません。学生の驚異的な努力とチームワーク、情熱も変わることはありませんでした。第7回りゅうじょう子どもフェスタは、2011年2月5日(土)に開催予定です。本事業は、大学教育高度化推進特別補助の助成(平成18年～20年)を受けて発展してまいりました。次なる展開を構想しています。

#### ● 阪下起子さんの感想 ●

(ミュージカル担当)

何かと熱い私は、友だちとたくさんぶつかりました。でも1番大きな壁が自分自身でした。私の役柄は全ての役と関わりをもつものでした。役の性格を十分に引き出しながらも、場面と場面をうまく繋ぐ事が大変でぎりぎりまで悩みました。繋ぎがつまらないと全部が台なしになるというプレッシャーもありましたが、客観的に見ながらも、役に命を吹き込むという繰り返しを、何度も行い、やっと完成したのはリハーサルの時でした。作品は大成功！みんなの高い意識とやる気で楽しくミュージカルができました！一生の宝物です！

### 柳城祭

柳城生の最大のイベント「柳城祭」は毎年恒例の11月2日〔火〕、3日〔文化の日〕に開催されます。一日目は学生の為のお祭り、二日目は外部のお客様を御招待してのお祭りです。毎年メインイベントを中心に学生達の手作りの出し物がいっぱいです。昨年度は、インフルエンザ流行の為縮小して開催され大変残念でした。学生達は、今年こそはとの思いで今から準備に勤しんでいます。昨年中止された「保護者懇談会」、「紙芝居フォーラム」主催の紙芝居コンクールの入賞者の表彰式と実演も計画されています。保護者の皆様、卒業生の皆様是非お越しください。皆様のお越しを本学一同心よりお待ちしております。そして目白押しのイベントを是非皆で楽しもうではありませんか。





## 附属柳城幼稚園



今年度は、89名の園児（年長組34名、年中組31名、年少組24名）に恵まれてスタートしました。

年少組24名のうち、満3歳児クラスから9名、2歳児クラスから6名、未就園児教室に出席したことがある子どもたちも多いため、入園当初から落ち着いているように思います。

昨年度、保護者の方にお願ひしましたアンケートにも、『担任の先生が細かい所までよく見て下さる。』

『欠席していた我が子が登園すると皆の先生が声をかけて下さる。』



り、親子共にうれしかったです。』など若い担任の先生の評価も高く、普段から真面目に子どもたちのために一生懸命、保育に励んでいる姿が見られます。

ホームページも新しくなり、園での子どもたちの様子や給食、お弁当のことも毎日ブログでお伝えしています。

朝は8時半からの登園となつていますが、近頃は、10分くらい前から門のところで待つていてくれる子どもが増えてきました。「昨日の続きをしたい!」「早く行つて、三輪車に乗りたい!」という気持ち強いよう子どもたちは目を輝かせ、私と握手をして朝の挨拶を済ませると、まるで風のようにピューと園庭を走りぬけ、教室へと向かつていきます。

雨の朝も同様で、園庭にいくつも出来た大小の水溜りに入つて、遊びながらの登園も子どもたちにとっては、格別の楽しみようです。

元気でのびのびしている子どもたちと毎日一緒にいられることは、幸せなことです。

子どもたちのことも、私たち保育者のこともすべてを守り、導いて下さる神さまを覚えて祈るとき、感謝の気持ちでいっぱいになります。

(園長 中野早苗)

### 年長「青組」

年長は、男女共に17名で34人のとつても元気な子ども達です。今年も子ども達と色々な植物を育て、毎日おいしくご飯をいただくことの有難さを学んでいきたいと思ひ、お米をバケツで育てていく「バケツ稲作」を行つていきます。土をやわらかくほぐしてから一ミリほど芽が出た稲を植えていきました。

子ども達は、それぞれが思い思ひの言葉を掛けながら植えていましたが、「いつになったらお米が食べられるの?」という声が一番多く聞こえてきました。給食時におにぎりのおかわりを何度も食べてくれる青組さんならではの質問だなあと、とってもかわいらしく思いました。今後は、お米の他にミニトマトやゴーヤなどいろいろな野菜作りも体験していく予定です。

(担任 大井祥子)



### 年中「黄組」

自分の思いにまっすぐで魅力いっぱいの子に達して囲まれ、今年も年中組担任として31名の子ともと過ごす日々幸せを感じています。年中になり、子ども同士の関わりも深まってきました。先日、朝、「ママがいい・・・」と母親から離れられないお友だちに対して「迎えに来たよ」と笑顔でかけ寄る子どもの姿がありました。「一緒にに行こう」の一言で、その子は、笑顔になり皆とお部屋に入ってきました。この笑顔が、健やかな成長の力になると思っています。

神さまが与えて下さった子どもとの出会いと、かけがえのない幼児期に携わっていることに感謝し、優しさ溢れる心豊かな子どもの成長を見守つていきたいです。

(担任 青木万莉)



### 年少「赤組」

年少組は入園してから一ヶ月が経ち、最初は登園時お母さんと離れられずに泣いていた子どもも笑顔でお友だちと遊ぶ姿があります。絵本やお話しが大好きなクラスで集中してお話を聞いている姿は入園したばかりとは思えない程です。今、年少組では三輪車やスクーターよりも砂遊びや花を使った水遊びなどを楽しむ子が多くいます。砂をお皿に入れ、水を入れてかき混ぜて作ったお料理やコップに入れて作った色水のジュースをおいしそうに、食べたり飲んだりする真似をしたり、「どうぞ!」と言つてごちそうしてくれます。年少組は2人担任なので、これからもっと子どもとたくさん関わつて子どもが自分を出して伸び伸び遊べる環境を作つていこうと思ひます。

(担任 山田彩加  
水野里香)







附属豊田幼稚園

名古屋柳城短期大学附属豊田幼稚園は、創立30年以上の歴史があり、広々とした園庭には大きな樹木が枝葉を茂らせ、四季折々に花や果実をつける木も大変多くあり、虫や小鳥たちもたくさんつてきます。今年度は外での遊びを今まで以上に増やし、異年齢の子どもたちが触れ合う機会を多くしています。大きな土管の築山を設置し、木製ベンチセットを置き、長い丸太、切り株を無造作に並べて、自由に遊べるようにしています。

子どもたちは、実に工夫してよく遊びます。大人では考えられないような発想や遊び方をします。自然の恵みは限りなく子どもたちを遊びの中に誘います。

豊田幼稚園の園庭が子どもたちの「子どもの庭」になるように、自然でいっぱいになりたいと思っています。草花の種を子どもたちと蒔き、畑に季節の野菜を植え、子どもたちが豊かな自然の中で5感を通して感じる事ができるようになっています。

今年度は、新しい取り組みとして瀬戸市の「海上の森」に出かけ、森林体験をさせています。森の中で子どもたちは様々な体験をし、心を動かされることでしょう。

豊田幼稚園では、今年から新しく満3歳児クラスが始まりました。4月より募集中で、まもなく何人かの満3歳児がはいつてくる予定です。

子育て支援として昨年度より始めた2歳児教室は今年から、月・水コースと火・木コースの2コースにしました。現在20名の2歳児がニコニコ笑顔でやっています。お母さんのつきそいを1ヶ月間はしていただく予定でしたが、3日目にはすでに、ほとんどのお母さんの付き添いがありませんでした。本当に見事な親離れ子離れでした。子どもたちは、毎日の生活の中で、自然に縦割りでも過ごしています。異年齢児とのかかわりは、お互いを大きく成長させます。

朝、登園する時に、お姉さんや

お兄さんが、小さい子の手をしっかりとつかないでできてくれます。

歯の検診の時には、年長児が年少児をつれてきて、頭をそつと支えていてくれました。ほほえましく、頼もしい光景でした。

私たちは、子どもたちの心に、目に見えないけれど大切なものを育てていきたいと思っています。

愛すること、信じて、尊敬、感謝、誠実さ等はどれも目には見えませんが大切なことばかりです。

これらを子どもたちの心に育みたいと、教職員は力を合わせ働いています。

子どもたちが幼稚園生活を楽しく過ごす中で、自分らしさを出しながら調和のとれた人格形成がなされ、愛に満ちた暖かい心と勇氣をもつて正しいことをする心が育ちますように願っています。

神さま、これからも



子どもたちの歩む道を照らしお守りください。

園長 鈴木はる美







附属三好丘  
聖マーガレット幼稚園

マーガレット幼稚園のある三好町は2010年1月4日から「みよし市」になりました。これから少しずつ園の周りの環境も変わっていくことでしょう。

開園11年目に入り、「子どもたちをイエスさまの許へ」と願ってする保育は変わりません。

昨年度からスタートした「ハンナとサムエルの会」は、卒園児の保護者から小学校へ行っても祈る機会をとの申し出を頂いて始めました。本当に感謝です。月に一度の会ですが、毎回15人位の子どもたちとお母さんが参加して下さっています。

また、地域の方々との交わりも深まりました。4月4日(日)に、

地名「桜」にちなんだ「桜まつり」が桜集会所で行われました。俳句・写真・絵手紙など、ご高齢の方から園児まで多くの方々の作品100点が展示されました。その中で年中組の共同作品が来場者による投票で「金賞」を頂きました。作品を通して多くの地域の方々とふれ合うことが出来たようで、本当に嬉しく思います。「みよしがおか」という地元紙にも掲載され、皆さんが声をかけて下さいました。

(園長 平松ちづ代)



**ご挨拶は元気になります！**

4月の終わりに年長組・年中組が手をつないで「春探し」のお散歩に出かけました。

肩には自分で作った「こいのぼり型のポシエット」を下げて・・・

Let's go!

川に沿ったあぜ道では、たんぼぼやクローバーを見つけると、「春みつけた!」と！  
子どもたちの嬉しそうな声が溢れました。

川の中からカメが顔を出し、草の根にはだんご虫！子どもたちの大好きなお友だちばかりです。自分で見つけた春をポシエットに入れた子どもたちの目はキラキラ輝いていました。

帰り道のすこし疲れた頃、道で会う近隣の方々に皆で「こんにちは!」とご挨拶。

すると皆さん笑顔で「こんにちは!」と返して下さい、心も春のようにぽかぽかしてきて、疲れも吹き飛びました。ご挨拶はやつぱり気持ちがいいって子どもたちも

感じようです。

幼稚園まで、元気に笑顔で帰ることができました。

(教諭 吉永 有芽)

**自分のことばで！**

年長組は5~6人のグループを作り、園の畑に「じゃがいも」を植え、水やりと観察をしています。グループに野菜の名をつけ、毎日当番活動を楽しんでいます。

また、観察したことや思ったこと感じたことを礼拝後、皆の前で発表しています。土の中に隠れていた芽が少し顔を出した時の様子や、葉が多くなつていく様子を見て、喜んで自分の感じた事を自分のことばで伝えていきます。また、日々成長していく過程を子どもたち自身が感じ取り、神様から頂く

多くの恵みに感謝し、「じゃがいも」の持つ生命力に感動しています。目には見えない土の中で大きくなる「じゃがいも」の収穫を心待ちにしている子どもたちです。

そんな日々の子



どもたちの一言を記録に残し、作品展で皆さんに見ていただく予定です。

(教諭 林 知子)





## 2009年度会計報告

	科目	2008年度	2009年度
収入の部	学生生徒納付金収入	606,993	622,804
	手数料収入	11,873	11,758
	寄付金収入	8,681	11,967
	補助金収入	180,904	229,438
	資産運用収入	6,348	6,710
	資産売却収入	800,000	700,000
	事業収入	26,391	40,020
	雑収入	36,739	53,482
	前受金収入	155,660	161,870
	その他の収入	8,313	38,060
	資金収入調整勘定	△ 173,508	△ 250,441
	前年度繰越支払資金	1,171,137	1,334,030
	収入の部合計	2,839,532	2,959,698
	支出の部	人件費支出	455,530
教育研究経費支出		157,448	171,624
管理経費支出		46,361	48,577
借入金利息支出		2,109	1,885
借入金返済支出		10,930	10,930
施設関係支出		21,508	163,541
設備関係支出		11,905	15,335
資産運用支出		800,917	853,049
その他支出		10,513	12,166
資金支出調整勘定		△ 11,720	△ 10,795
次年度繰越支払資金		1,334,030	1,194,338
支出の部 合計		2,839,532	2,959,698

## [2009年度決算を振り返って]

収支の状況：当年度の帰属収支差額は191,847,150円の収入超過でした。主な増益要因は、収入面では、施設整備にかかる補助金が大幅に増加したことと、学生・園児の増加による学生生徒納付金が増加したことによるもの

です。一方、支出面では、人件費・教育研究経費とも金額面では増加したものの、増加率を抑えられたことが寄与しました。補助金の増加は当年度限りの要因にて、それを除いた経常的な帰属収支差額は143,313,534円と、ほぼ例年通りの結果でした。

資金の状況：支払い資金は139,692,029円の減少でした。マイナスとなった最大の要因は、三井住友銀行劣後債150,000,000円を購入したことと、施設関係支出も163,541,002円と大幅に増加していますが、今期中のキャッシュフローでほぼ賄われており、設備関係支出が資金面を圧迫する状況にはなっていません。

財産の状況：総資産が178,325,031円増加しました。固定資産が259,251,330円増加する一方、流動資産は80,926,299円減少しました。固定資産の比率は61%にて、未だ低水準と考えています。自己資本は2,899,900,943円となり、自己資本比率は87%と良好な水準を維持しています。

	科目	2008年度	2009年度
消費収入の部	学生生徒納付金	606,993	622,805
	手数料	11,873	11,758
	寄付金	9,330	12,775
	補助金	180,904	229,438
	資産運用収入	6,474	5,176
	事業収入	26,391	40,020
	雑収入	36,739	53,482
	帰属収入合計	878,704	975,454
	基本金組入額	△ 37,671	△ 128,324
	消費収入合計	841,033	847,130
消費支出の部	人件費	450,115	489,948
	教育研究経費	219,283	229,608
	管理経費	47,175	49,226
	借入金利息	2,109	1,885
	資産処分差額等	97	12,940
	支出合計	718,779	783,607
	当年度消費収支差額	122,254	63,523
前年度繰越	〃	316,678	194,424
翌年度繰越	〃	194,424	130,900

	前年度末	当年度末	
資産の部	固定資産	1,773,213	2,032,464
	流動資産	1,370,748	1,289,822
	(内、預金)	(1,334,030)	(1,194,338)
	資産合計	3,143,961	3,322,286
負債の部	固定負債	252,061	232,031
	(内、借入金)	(94,900)	(83,970)
	流動負債	183,846	190,354
	負債合計	435,907	422,385
資本	基本金	2,902,478	3,030,801
	消費収支差額	△ 194,424	△ 130,900
	資本合計	3,143,961	3,322,286

# 附属幼稚園情報

## 新入園児お知らせ

### 入園説明会

柳城幼稚園 9月18日(土)  
 豊田幼稚園 9月4日(土)  
 三好丘聖マーガレット幼稚園  
 9月25日(土)

### 入園願書配布 願書受付

9月1日(水)～ 10月1日(金)～

## 運動会

### 柳城幼稚園

10月16日(土)雨天時は18日(月)

### 豊田幼稚園

10月2日(土)雨天時は3日(日)

### 三好丘聖マーガレット幼稚園

10月2日(土)雨天時は3日(日)

## 子育て支援

各園にて子育て支援事業に取り組んでいます。

ぜひお問い合わせください。

柳城幼稚園 (052)951-5080  
 豊田幼稚園 (0565)80-0198  
 三好丘聖マーガレット幼稚園  
 (0561)36-8373

## ◎学院人事

任(2010年2月15日付) 辞  
 理事長 森 紀巨  
 任(2010年2月15日付) 退  
 理事長 洪澤 一郎  
 職(2009年10月31日) 退  
 経理課長 加藤 久雄  
 職(2010年3月31日付) 退  
 教授 長根利紀代  
 准教授・チャブレン 市原信太郎  
 法人事務局長 西 弘美  
 就職課長 齊藤 政義  
 附属豊田幼稚園教諭 粟田 彩子  
 附属豊田幼稚園教諭 中島 良子  
 附属豊田幼稚園教諭 高見 真由  
 附属三好丘聖マーガレット 南川たか子  
 附属三好丘聖マーガレット 野々山実奈  
 附属三好丘聖マーガレット 齋藤久美子  
 任(2010年3月1日付) 解  
 教育学部長 阿部 力治  
 経理課長 野々宮 徹  
 採用(2010年4月1日付) 採用  
 教授兼教育学部長 菊地 伸二  
 教授 榎原 博美  
 助教 高橋 達也  
 入試広報課長 榎原 博美  
 チャブレン(非常勤) 下原 太介  
 附属豊田幼稚園教諭 太田久美子  
 附属豊田幼稚園教諭 後藤 千佳  
 附属三好丘聖マーガレット 山中 綾  
 附属三好丘聖マーガレット 織田 純代  
 附属三好丘聖マーガレット 吉田 優子  
 任用換(2010年4月1日付) 昇  
 (特任から専任に任用換) 任(2010年4月1日付)  
 教授 中根 淳子  
 教授 鈴木 裕子  
 准教授 野崎 真琴  
 入試広報課長 佐藤 章裕  
 配置転換(2010年4月1日付) 就職課長 宮嶋 英一  
 (入試広報課長) 就職課長 大澤 弘毅(教務課長)  
 退職(2010年4月30日付) 退職(2010年4月30日付)  
 附属豊田幼稚園教諭 太田久美子

## 2010年度 主要行事予定

- 4/2(金) 入学式
- 4/9(金) 入園式
- 5/30(日) ホームカミングデー
- 6/12(土) 授業公開
- 7/17(土) オープンキャンパス
- 9/4(土) オープンキャンパス
- 11/1(月) 創立記念日・創立記念礼拝
- 11/2(火)・3(祝) 柳城祭
- 11/3(祝) オープンキャンパス
- 12/22(水) クリスマス礼拝
- 1/23(日) ニューイヤークンサート
- 2/5(土) りゅうじょう子どもフェスタ
- 3/16(水) 終業礼拝
- 3/17(木) 卒業式・修了式
- 3/16(水)・17(木)・19(土) 卒園式
- 3/23(水) 修了式(園)